

ブレーキフルード DOT4

ブレーキフルード

パッケージ

18L	一斗缶
1L	20本/箱
250ml	30本/箱
100ml	30本入×2箱
50ml	60本/箱
500ml	30本/箱

商品番号

BF-505
BF-506
BF-507
BF-508
BF-509
BF-510

成分

グリコールエーテル
ポリグリコール
グリコールエーテル及びそのホウ酸
エステル化合物
モノエタノールアミン
酸化防止剤
防錆剤

特徴

ISO 4925(Class4),SAEJ 1703,FMVSS 116(DOT4),JIS K 2233 4種(BF-4)の規格に適合した最高級品です。

高沸点を有するため、いかなる過酷な運転条件の下でも高性能を発揮します。

各種金属やゴムの酸化、腐食を防止します。

吸湿性を最小限に止めベーパーロック現象の発生率を減少させます。

高温でも適度な粘性を失わず、低温でも流動性を保ちます。

使用方法

- ① ブレーキ液の交換/補充については自動車毎に規定されているブレーキ液点検補給の取り扱い方法に従って下さい。

※交換目安 ： 車検毎
 ： ブレーキ液の色が黒褐色になった場合

- ② ブレーキ液の交換/補充の際、リザーブタンク周辺の油、ごみ、水等が入らないようにしてください。
- ③ ブレーキ液のリザーブタンクの液面は常に正常に保つようにし、不足している場合は漏れ等を点検してから本液を補充してください。

取扱上の注意

全ての安全注意を理解したうえでご使用ください。

上記用途以外には使用しないでください。

安全データシート（SDS）をよく読み、ご使用下さい。

人体に害があるので飲んではいけません。

鉱油系またはシリコン系ブレーキ液との混合は禁止します。

引火性があるので、火気に近づけないでください。

取り扱い後はよく手を洗ってください。

子供の手の届くところに置かないでください

作業の際は必ず保護具（保護メガネ、保護手袋等）を着用してください。

ブレーキ液には吸湿性があり、吸湿すると沸点が低下し、ベーパーロック現象を起こしてブレーキが効かなくなる危険があるので注意してください。

−40℃以下での外気温度では、使用しないでください。

ブレーキ液は車の塗装面を傷めるので、付着した場合は速やかに洗い流してください。

ブレーキ液に鉱油（エンジンオイル、ガソリン、灯油、軽油等）、植物油、シンナー等を混合しないでください。ゴムカップの異常膨張により、ブレーキがきかなくなります。

床にブレーキ液がこぼれた場合は布等で拭き取ってください。

特性

項 目				JIS K 2233:2006 (4種) 規格	代表性状
色				—	淡黄色透明
平衡還流沸点 (°C)				230以上	267
ウェット沸点 (°C)				155以上	165
動粘度 mm ² /s		(−40°C)		1500以下	1100
		(100°C)		1.5以上	2.3
pH値 (23±5°C)				7.0~11.5	8.4
安定性		高温安定性 185±2°C 120±5min		沸点変化は5°C以内とする。	−1
		化学安定性		沸点変化は5°C以内とする。	±0
金 属 腐 食 性	金 属 試 験 片 の 状 態	質 量 の 変 化 mg/cm ²	ぶりき	±0.2	±0.00
			鋼	±0.2	±0.00
			アルミニウム	±0.1	+0.01
			鋳鉄	±0.2	−0.05
			黄銅	±0.4	−0.02
			銅	±0.4	+0.02
		外 観		試験片と試験片との接触部以外に目視によって認めることができる程度の表面腐食がない。ただし、汚れ及び変色は差し支えない。	合 格
	標 準 SBR カ ップ の 状 態	ベース直径の増加量mm		1.40以下	0.28
		硬さの変化量		0~−15	−4
		体積の増加率 %		16.0以下	2.7
		外 観		形状及び表面状態に著しい変化がない。	合 格
	液の性状	外 観		室温でゼリー状にならない。また結晶性物質の生成がない。	合 格
		沈殿量 体積分率%		0.10以下	0.05以下
		pH値 (23±5°C)		7.0~11.5	8.0
	耐 寒 性	−40±2°C 144±4h	外 観		透明かつ均一で、沈殿がない。
空気が液面に到達するまでの時間 s			10以下	3	
−50±2°C 6h±12min		外 観		透明かつ均一で、沈殿がない。	合 格
		空気が液面に到達するまでの時間 s		35以下	10
水 許 容 性	−40±2°C 22±2h	外 観		透明かつ均一で、沈殿がない。	合 格
		空気が液面に到達するまでの時間 s		10以下	5
	60±2°C 22±2h	外 観		透明かつ均一である。	合 格
		沈殿量 体積分率%		0.05以下	0.00

項 目			JIS K 2233:2006 (4種) 規格	代表性状
混 合 性	-40±2℃ 22±2h	外 観	透明かつ均一で、沈殿がない。	合 格
		外 観	透明かつ均一である。	合 格
	60±2℃ 22±2h	沈殿量 体積分率%	0. 05 以下	0. 00
抗 酸 化 性	質量の変化 mg/cm ²	アルミニウム	±0. 05	±0. 00
		鋳 鉄	±0. 30	+0. 01
	外 観		錫箔との接触部以外に、目視によって認めることができる程度の表面腐食がない。ただし、汚れ及び変色は差し支えない。また、錫箔との接触部以外の表面にガム状物質が付着していない。	合 格
ゴ ム 膨 潤 性	標準SBR カップ	ベース直径の増加量mm	0. 15～1. 40	0. 98
		硬さの変化量	0～-15	-10
		体積の増加率 %	1. 0～16. 0	11. 3
	120±2℃ 70±2h	外 観	形状及び表面状態に著しい変化がない。	合 格
	標準EPDM	硬さの変化量	0～-15	-6
		体積の増加率 %	0. 0～10. 0	5. 0
		外 観	形状及び表面状態に著しい変化がない。	合 格
スト ロ ー キ ン グ 性 能 85000 スト ロ ー ク 120±5℃ 7.0±0.3 MPa	金 属 部 品 の 状 態	シリンダ及びピストンの作動状態	固着及び作動不良がない。	合 格
		付着物の状態	ガム状及び研磨性のものでなく、エタノールを浸した布で容易に拭き取ることができる。	合 格
		表面の状態	目視によって認めることができる程度の表面腐食がない。	合 格
		シリンダの内径及びピストン外径の変化 mm	0. 13 以下	+0. 03 (シリンダ) -0. 03 (ピストン)
	標 準 S B R カ ッ プ の 状 態	ベース直径の増加量mm	0. 90 以下	0. 50
		リップ直径のしめしろの変化率 %	65 以下	38
		硬さの変化量	0～-15 ただし、-17 以上の変化のものが2個以上ない。	-7 合 格
		外 観	作動状態の異常を引き起こすようなねばつき、スカuffing、き裂、かじり及び変形がない。	合 格
	液 の 状 態	2400ストロークごとの損質量 ml	36 以下	4
		100ストローク追加して作動したときの損失量 ml	36 以下	0
		外 観	作動状態の異常を引き起こすような、スラッジ、ゲル状物質、ざらざらした砂状物質及び研磨性物質がない。	合 格
		沈殿量 体積分率%	1. 5 以下	0. 15